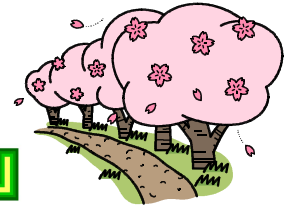




めだか通信225号

桐生市教育支援センター「あぶろーち」



「暑さ寒さも彼岸まで」という通り、3月になって寒い日もありましたが春らしい陽気になり、桜が見頃を迎えています。春は別れと出会いの季節です。「あぶろーち」からも小学生と中学生が卒業し、4月の新たなスタートに向けて準備を始めています。

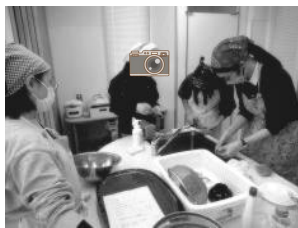
この1年「あぶろーち」では、活動の一部変更はありましたが、予定していたすべての行事を無事に実施でき、日々の生活の中で子どもたちの笑顔にたくさん出会うことができました。子どもたちの笑顔は職員の喜びであり、パワーになっています。

今月号は、3月に実施した調理実習「ちらし寿司」と「じゃがいも植え」についてお知らせします。

【調理実習～ちらし寿司～】

桃の節句と卒業、進級のお祝いを兼ねて、あぶろーち最後の行事である調理実習「ちらし寿司」が行われました。

ご飯を炊いて酢飯を作ったり、錦糸たまごを焼いたり、具材を刻み準備をしたり、子どもたちは積極的に作業に取り組んでくれました。それぞれが、好きな具材をトッピングして豪華なオリジナルちらし寿司を完成させ、お腹いっぱい食べることができました。かき菜を茹でて添えたので、春を感じることもできました。



【食材の準備】



【卵焼きの実演】



【錦糸たまご作り



とても上手でした】



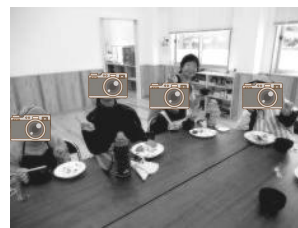
【具材準備 包丁の扱いにも慣れてきました】



【酢飯作りも上手です】



【自分の好みのものをトッピングして完成】

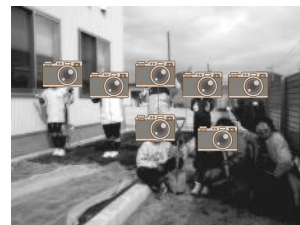
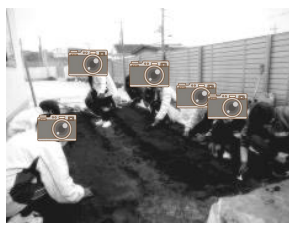


【頂きま～す おかわりするぞ!】



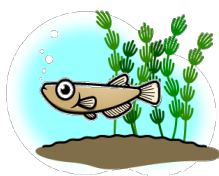
【栽培活動～じゃがいも植え～】

春らしく暖かい日が多くなり、畑の準備ができたので、じゃがいもの種芋を植えました。冬休みに畑を耕し、堆肥と肥料、石灰を入れ土のパワーを蓄え、2月下旬に苦土石灰を入れ準備完了。通所生はシャベルで掘り、畝を作り、種芋を25個植えました。6月に収穫し、調理実習の「カレー作り」で使います。4月には人参の種蒔きもする予定です。秋に植えた玉葱も大きくなり、収穫と調理実習が今から楽しみです。



【シャベルで掘り起こし、畝を作り、優しくに種芋を植えました】 【植え付け終了！】

【めだかのつばき】



「TEAM あぶろーち」

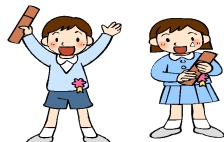
イタリア ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが日本選手の大活躍で終了しました。日本代表は過去最高24個（金5個、銀7個、銅12個）のメダルを獲得し、日本中に大きな感動を残しました。特に、フィギアスケート・ペアの三浦璃来、木原龍一（りくりゅうペア）組がショートプログラムでの失敗を乗り越え、世界歴代最高得点をたたき出し、逆転で金メダルを獲得したフリーの演技に多くの人が感激の涙を流したのではないのでしょうか。冬のオリンピック競技はほとんどが個人競技ですが、選手のインタビューでは「チーム」の力が支えになったという言葉がたくさん聞くことができました。4年に1度のオリンピック。重圧をひとりで受け止め、ひとりで競技に臨むのでは過度の緊張で力が出せなくなってしまいます。チームメイト、コーチ、スタッフなど、より高みを目指す共通意識を持ったチーム全員の支えを感じながら、競技に立ち向かうことで、重圧に押し潰されることなく本来の力以上のものが発揮できたのではないのでしょうか。

あぶろーちに通所する小・中学生は小さな集団で一緒に活動しています。そんな集団の中で人と関わりながら少しずつ自信をもって行動、発言することができるようになってきました。大きな集団の中では埋もれてしまいがちな子どもたちが、役割を与えられ、経験を積むことで自信をもち、最後には自分から進んで役割を果たそうとするまで成長してきました。硬かった表情が柔らかくなり、笑顔も増えてきました。学校復帰にはなかなかつながらない子どももいますが、心が元気になり、前向きに生活ができるようになっていきます。

4月の新学期に向け、子どもたちは新たな気持ちで一步踏み出そうとしています。子どもたちが書いたチャレンジシートには「始業式には登校したい」「修学旅行に行きたい」「友だちに会いたい」など前向きな目標が並んでいます。

これまで支えていただいた家族の皆様、学校関係者の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、4月からのスタートに向けて各家庭や学校において、子どもたちの思いや願いを再確認していただき、背中を押していただきたいと思います。

「めだか通信」は225号をもって今年度最終号となります。1年間応援ありがとうございました。これからも「TEAM あぶろーち」で子どもたちを支えていきます。



2026年3月26日 発行

TEL 46-6314

